1	１４番　　竹　中　　悟　　議員 ①　次世代へ向けた町づくりについて 　まちの将来像や町づくりの計画については、第１０次総合計画において今後１０年間の基本構想・基本計画により将来像や各分野の推進施策が策定されている。そこで質問する。 （１）まちづくりには都市計画を基本とした長与町マスタープランとの整合性を持ったまちづくりが必要と考えるが、ハード・ソフトを含めた新たな未来像についてどのようなビジョンがあるのか尋ねる。 （２）３０年、５０年後の＜次世代の町づくり＞に向けた構想の策定など、具体的な取り組み状況を尋ねる。 （３）本町は、県下の統計指標や町民アンケートにおいても、充実度や満足度など高指標・高評価の要素はあるがそれを生かし切れていない。そのため、新しい活気が生まれず停滞感が生じているのではないのかという声も聞き及んでいる。未来へ向けて豊かさや魅力を実感できる街づくりを目指し、中長期的な視点に立った町づくり構想の必要性について尋ねる。 （４）町づくりを推進するため、再任用職員の経験と若手職員を生かした地域活性化を先導するセクション設置＜課・係＞の必要性について尋ねる。 ②　新図書館及び複合施設の建設計画について 　本年３月議会においても質問したが、新図書館及び複合施設の建設については令和４年から作業を開始し令和８年建設完了に向けて検討をしているとのことであったが令和４年度まで数か月となった。現在、どのような方針や計画で進めるのか尋ねる。 （１）コロナ化の影響で財政の逼迫が予想されるが、令和８年建設完了に変更はないのか。 （２）図書館のみ建設なのか、複合化施設にするのか、さらに民間施設との複合化及び連携はどのような内容になるのか明確な方針を示す時期と考えるがどうか。 （３）施設の建設には、町民の声を反映させることも重要と考えるが合意内容について尋ねる。 （４）複合化施設となると財政の負担増が想定されるが財政の見通しについての考え、また財源の見通しをした中で、設計や工事発注のタイミングなど今後のスケジュールを尋ねる。 （５）施設の管理運営については、指定管理者制度等を採用する自治体もあるが町の考えはどうか。